# 43车 前 0) 不 忠議 な奨学金の 思 41

出

千葉大学大学院薬学研究院 前研究院長・教授

齊

藤

和

## 61 元労働省労働基準局安全衛生 0) は な 0) 泉

元日本赤十字社技監 (血液事業) 千葉大学医学部昭和35年卒 工部長 草 [IX

跭

編集発行者 公益財団法人 猪之鼻奨学会 千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号

043-226-2509 内線 5024 1915年 (大正4年) 立

私も東大の学部生、 ・ ・

もなりました。

この不思議ないわば学部長特

はじめ、運

動部

が私の薬学研究者として原点に ますとこの先生とのお付き合 持っていました。いまから思

りして関係者の皆様に深くお

いており、この場をお借

に所属する教員も毎年助成 猪之鼻奨学会からは薬学研

な雰囲気をもった先生に憧れをいており、謹厳な古武士のよう

〒260-8670 千葉大学医学部内

猪之鼻奨学会報 第 22 号 井出源四郎 (第八代千葉大学学長)

は他の研究室に移りましたの年に停年退職され、私も大学院ました。瀧澤先生は私が卒業の の学部長であった瀧澤武夫先生 究の研究室配属では3年生の時 の同級同門生)の研究室に属し すが、その先代の萩庭丈寿先生 私の先代教授は村越勇先生で そんな事もあり、私 毎月教授室には伺 **肖教授室には伺わせて頂** 私にとっては3年生の時 は卒業

は不明です とって学部長と個人的に世間 の大学3年生の時には、 金が主なものでしたが、 ました。当時の日本育英会奨学 の時には奨学金のお世 点話に なり

お金だけではなくこの心温

会もありました。学部3年生に 受け取りに行くのです。多くの 思うと不思議な奨学金を1年間 し、それを機に尊敬や憧れを持などをするのは特別な事でした と学部長先生と言葉を交わす機 当時の学部長の教授室に現金を 頂きました。その奨学金の原資 つようにもなりました。 が、昼休み時などに行きます 合は秘書さんから頂くだけで ワが、たしか月に3千 毎月決まった日に 話 も感謝に堪えない思いです。 ての道筋にも影響を与えましの後の私がたどった研究者とし 表情も懐かしく思い出され、そ出してみても、当時の先生方の いまだに実現できていません。 れないものかと思っていますが、 良いのでこのような仕組みを作 も千葉大学薬学部にも少額でも かな仕組みには、43年経た今で 年の給付でしたが、

私

病院内は全て米語、

した医師達が行っていました。

総合病院でレジデントを修了

した。一

鼻 奨 学 会

大切なのではないかと思いまで、何かしらの心の通い合いが髪学金を与える側の方々との間 是非、多く 若い方々がその後の人生においす。少額であっても受け取った とも猪之鼻奨学会にご協力をよ にご支援を賜りますよう、 ような奨学金が理想的なのでは ん大切ですが、その奨学金を通 しくお願 て受け取る側の若い方々と、 それを生き方の糧とできる 多くの若い方々の将 ます 今将後来

(いのはな)に推されて行政に 経て、厚生省におられた先輩 帰国。日本で大学病院副手、更 ミナマタ問題を担当、兵庫県で央じん肺診査医を、環境庁では 入りました。労働省では主任中 Natureを含めて発表し、活で得られた論文・レポートを フェローとして米国での研究生 NIHグラントのリサーチ 健環境部長としてPC

退職。 ネットワークを構築。平成15 都道府県を超えた安全と供給

国医科大学卒の学力を有するとり、日本の国試はパス、更に米 らいしか無い日々とはいえ、学 も有効期限付きで合格でした。 いう資格試験(略称ECFMG) ぶことも極めて豊富な1年を送 国人で将校として遇されていま 日の睡眠時間は3時間く ナースも米 願っています。出する泉であり続け らも続いてゆきます。

ばたく研究者になられてい す。いのはなのご縁……これか 年は移り、ご子息は世界に (省庁名は当時 けること 俊秀の輩 のまま ま羽

奨学金は金額の多寡ももちろ

のはな」?!

「宜しくお願いします。」と申さ葉大学病院におられる旨を告げ

の多くのご縁は貴重なものでしたことをといる。 初代「結核難病感染宿に戻り、初代「結核難病感染理に成功しました。そして厚生 の一人として招待されていた私会が開かれ、当時の労働省幹部り、新年の経済会主催質詞交歓昭和から平成に年号が変わ り、新年の経済会主催賀詞交歓いのおら平成に年号が変わたとの鍛錬のお陰でした。は、環境庁時代に得た大蔵省の が近づいてこられ、ご子息に、堂々たる長身巨躯の経 た。当時の大蔵省との交渉 る研究費獲得で殆ど成功したの

私が学3の時、父が病に倒れ、学業の継続が困難となりました。医学部事務・病院事務の 方々の配慮・助力もあって、猪 之鼻奨学会の援助を頂き、卒業 できたのです。臨床の諸先輩を 達・同級生の (サッカー) 0)

大きな金額でもなく、たった1別奨学金は、当時でもそれほど

のお陰です。 先輩や仲間

卒業後1年間

のインターン

iţ

今から思い

与も出て住居は将校宿舎、

米

国内で音に聞くフィ

在日米軍病院の試験に合格。

ラデルフィア、

マサチューセッ

ご寄付のお願いと寄付金の税額控除のお知らせ

猪之鼻奨学会は、大正4年(1915年)に創立されて以来、多くの方々からの善意の寄付金により奨学事業並びに研究助成事 業を実施してきております。

平成24年4月1日「公益財団法人」として、新たにスタートした猪之鼻奨学会は、「定款」に謳いますよう、医学及び薬学 の研究を奨励することを目的として、研究事績の優秀な者に研究費の補助、そして学資の欠乏を告げた学生に学資の貸与を行 ないます。これらの事業を遂行するために、どうか皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

一口5,000円ですが、ご都合により何口でも結構です。

同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。

なお、「特定公益増進法人化にともなう寄付金の税額控除」に関しては、公益財団法人へ移行したことにより、本会が税制 上の優遇措置の対象となる特定公益増進法人となりました。従って、個人によるご寄付の場合、所得の40%を上限として、ご 寄付金額から2千円を差し引いた金額が、その年の課税所得から控除されます。法人によるご寄付の場合、一般の寄付金とは 別枠で、特別損金算入限度額まで、損金の額に算入することが認められます。

今後とも、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人猪之鼻奨学会 理事・評議員一同

### 平成29年度 公益財団法人猪之鼻奨学会事業報告

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

### 1. 事業の状況

(1) 研究助成金(180万円)の助成 内訳 各30万円 一般の部 5件 若手の部 1件

一般の部

所 属	研究領域	氏 名	研 宪 課 題
千葉大学医学部附属病院	血液内科	大島 渚	DNAメチル化形質による EBV 陽性 B 細胞性悪性リンパ腫の層別化と新規治療法の開発
千葉大学医学部附属病院	糖尿病	石川 崇広	新規CGMを用いたセルフモニタリングを基盤とする新たな糖尿病治療法の有効性の検討
千葉大学医学部附属病院	診断推論学	池上亜希子	診断推論カンファレンス活性化に向けたリアクション可視化ツールの開発と評価
日本大学薬学部薬剤学	薬剤学	金沢 貴憲	脳・中枢神経系への非侵襲的な薬物デリバリー法の開発を指向して経鼻投与後の脳内薬 物・バイオ医薬動態解析
千葉大学大学院薬学研究院	物理薬剤学	東 顕二郎	薬物溶解性を顕著に改善する非晶質ナノ懸濁液製剤の開発

若手の部

所	属	研究領域	氏	名	研 究 課 題
千葉大学大学	院薬学研究院	薬剤学	田中	浩輝	炎症性疾患の治療を目指した mRNA 送達システムの開発

### (2) 奨学金(60万円)の貸与 1件60万円

日本大学 薬学部 1年次

貸与金額:60万円

### (3) 会報発行 13,000部

医学部 8,000部

薬学部 5,000部

### 収支内訳書

平成29年4月1日~平成30年3月31日

### 貸借対照表

平成30年3月31日現在

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

		科 目	当年度	前年度	増 減	備考
	1.	基本財産運用収入				
		基本財産利息収入	282,800	504,000	△ 221,200	
,,,,,		事業収入	0	0	0	
川収	2.	寄付金収入				
자		寄付金収入	4,100,000	4,974,000	△ 874,000	
o	3.	雑収入				
部		受取利息	101,031	9,125	91,906	
	4.	基金収入				
		特定預金取崩し収入	0	0	0	
	当其	胡収入合計	4,483,831	5,487,125	△ 1,003,294	
	1.	*				
		研究助成金	1,800,000	1,500,000	300,000	
		奨学貸費金	600,000	900,000	△ 300,000	
	$\vdash$	<b>类費合計</b>	2,400,000	2,400,000	0	
	2.	管理費				
		給 料	869,312	812,793	56,519	
$\  \ $		旅費・交通費	101,430	96,580	4,850	
支		手当・謝金	50,000	50,000	0	
		事務備品費	23,747	35,953	△ 12,206	
出		消耗品費	21,235	77,758	△ 56,523	
		印刷費	188,300	275,348	△ 87,048	
<sub>၈</sub>		交際費	0	10,627	△ 10,627	
$\prod_{i=1}^{n}$		賃借料	35,355	33,673	1,682	
.		通信運搬費	26,318	39,338	△ 13,020	
部		会議費	11,385	9,044	2,341	
		支払手数料	246,240	246,240	0	
		ホームページ関連費	43,200	43,200	0	
		租税公課	0	3,750	△ 3,750	
		記念品費	12,997	0	12,997	
	A=&=	雑費	68,551	105,288	12,997	
	_	理費合計	1,698,070	1,839,592	△ 91,788	
	当其	胡支出合計	4,098,070	4,239,592	△ 91,788	

公益則団伝八角乙昇突	十五		(単位:円)
科 目	当年度	前年度(注)	増 減(注)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	2,097	2,594	△ 497
普通預金	765,128	409,670	355,458
流動資産合計	767,225	412,264	△ 950,817
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産有価証券	0	27,969,200	△ 27,969,200
基本財産預金	60,030,800	32,030,800	28,000,000
土 地	0	0	0
基本財産合計	60,030,800	60,000,000	30,800
(2) 特定資産			
貸与奨学金	2,700,000	2,100,000	600,000
研究助成基金	13,000,000	13,000,000	0
特定資産合計	15,700,000	15,100,000	600,000
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	75,730,800	75,100,000	630,800
資産合計	76,498,025	75,512,264	985,761
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	75,080,642	73,531,316	1,549,326
2. 一般正味財産	1,417,383	1,980,948	△ 563,565
正味財産合計	76,498,025	75,512,264	985,761
負債及び正味財産合計	76,498,025	75,512,264	985,761

# 公益財団法人 猪之鼻奨学会寄附金結果報告

·葉大学医学部・薬学部同窓会員 および関係者各位

ゐのは

な同窓会 友

東京都

日奉宏精

愛 茨 千 千 葉 県 県

千葉県

七 渡 横 山 荻 野 清 夕辺井本原田水

> I出樹 祐

高

額

寄

付

者

御 芳 名 録

(平成29年度)

(敬称吸

小軍黒草伊

司崎刈

雄道隆雄

千葉県

孝 邦

埼玉県 茨城県

佐 祥 知 久 次 雄 道

千葉県

られました。ここにご報告させていただき 業につきましては、 下記のように、大勢のご賛同とご協力が得 解とご協力を賜り感謝申し上げます。 平成29年度に実施されました寄附金は、 平素より公益財団法人猪之鼻奨学会の事 多くの方々の深いご理

様方のご健勝とご発展を祈念申し上げま 評議員共に更なる努力を重ねる所存です。 をいただきながら当奨学会の発展に理事・ ここに深甚なる謝意を表するとともに、皆 1名60万円)支給することができました。 |万円の研究助成金を交付、また奨学金を 『年度における助成件数は6件で、総額 いと存じます。お蔭様を持ちまして平成 事業費として有効に活用させていただき 今後も、皆様方の暖かいご支援とご指導 ご寄付いただきました金員は、当奨学会

記

小笠原

奥 石 石 飯 今 今 石 和 磯 今 伊 岩 市 片

村

Ш 神 島 村

寄附件数 寄附総額 四、100、000円 百四十件

平成三十年五月一日 公益財団法人猪之鼻奨学会

> 呂 藤 友

理事・評議員一同

門 河 鴨 勝 加 大

> 野 下

平 成 29 年

氏

度寄附者名簿

恵美子 陽 直 定 達 博 絢 達 佳 洋 貞 弘 智 名 彦 子 久 雄 昭 雄 子 彦 淳 博 安 也 康 子 夫 進 毅 透 夫 東京都 愛知県 東京都 千葉県 東京都 東京都 静岡県 埼玉県 千葉県 千葉県 千葉県 千葉県 茨城県 千葉県 千葉県 千葉県 東京都 千葉県 千葉県 都道府県

泉

Ш

泉 部 野 藤 倉 Ш 倉

獅	師	下	島
丁原	尾	条	崎
薫		直	
子	郁	樹	淳
東京都	千葉県	千葉県	千葉県

師子亰	師	下	島	齊	佐久	佐々	小	越	小	小	軍	倉	窪	熊	木	木	菊	菊	加	門	
京	尾	条	崎	藤	加	木	熊	山	泉	林	司	持	田	谷	下	野	池	池	来	山	氏
蕉		直		和	輝	孝	英	良	準	弘	宗	宏	叔		敏	智	周	義	俊	周	
子	郁	樹	淳	季	章	子	夫	子	$\equiv$	忠	文	明	子	仁	子	重	_	公	貞	文	名
_																					
東京鄒	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	東京都	千葉県	茨城県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	東京都	愛知県	千葉県	埼玉県	千葉県	東京都	都道府県

中 中 徳 徳

村

和 俊 剛 克

郎

千葉県 東京都 千葉県 千葉県 千葉県

山山

義 洋 敏

恵

友

子 司

厚

春 子 矢 安 柳 山

久

島

江 史 東塚

原

重 浩

雄

山梨県

郷

七百城

貫 善

重

子

重

彦

露 千

崎 葉

胤恒

平	久田	花	長谷	野	野	野	西		中	中
山	一俊和	輪	川	村	原	本	原	村	村	田
恵	・恵	孝	正	知	智恵子	泰	尚	静	和	正
子	学	雄	博	弘	学	正	史	子	則	子
-										
茨城県	長野県	山梨県	東京都	千葉県	埼玉県	千葉県	東京都	静岡県	千葉県	京都府

張 田 井 岸 本 本 﨑  $\mathbb{H}$ 田 澤 田 澤

司 子

佳 信

邉

栄 賢

千葉県 東京都 千葉県 千葉県 東京都 千葉県 千葉県 千葉県 千葉県 千葉県 長野県 千葉県

和

夫

平成三
十年三月二
圭
日現在

幸 吉 渡 渡 横 余 油 Ш Щ

部 野 辺

吉

郎

めぐみ

千葉県 千葉県

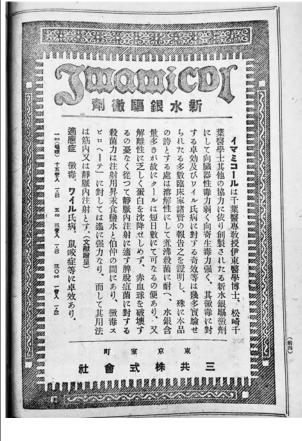
		<b></b>												UT THE	
武	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	高	高	田	相	鈴	鈴	須	砂	諏訪	鈴	嶋	篠	清	
田	垣内	木	Щ	所	馬	木	木	藤	田	園	木	田	塚	水	氏
恒	祐	-	直	重	光	敏		壮	荘		健	俊	正	栄	
弘	吾	也	秀	紀	弘	幸	光	郎	-	靖	文	恒	彦	司	名
千葉県	千葉県	千葉県	東京都	北海道	長野県	神奈川県	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	都道府県
<b>→</b> k	合	盐	+	抽	松、	松、	拟	如	木	虚	士	士	沙巴	給	

子	道	弘	吾	也	秀	紀	弘	幸	光	郎	_	靖	文	恒	彦	司	名
神奈川県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	東京都	北海道	長野県	神奈川県	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	東京都	千葉県	千葉県	千葉県	都道府県
宮	三	水鳥	宮	前	丸	増	松	松	松	細	本	藤	古	古	深	檜	
澤	上	川	薗	田	田	村	本	前	井	山	間	本	Щ	木	尾	垣	氏
	恵	俊	千代	昌	哲	道	俊		宣	公	康	重				有	
裕	只	夫	代子	利	郎	雄	-	元	夫	子	正	義	斎	新	立	徳	名
東京都	千葉県	千葉県	東京都	千葉県	千葉県	兵庫県	東京都	北海道	愛知県	千葉県	神奈川県	神奈川県	千葉県	千葉県	茨城県	東京都	都道府県

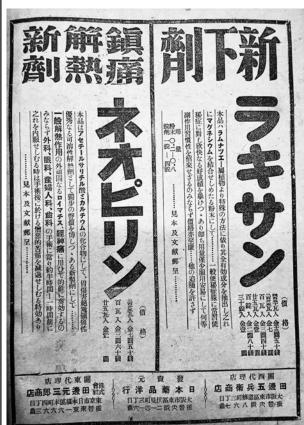
# 猪之鼻奨学会の歴史資料

本奨学会の長い歴史の証左となる貴重な資料の 部をご紹介申し上げます。 今号では [獎學會寄附金申込領收報告] より広告ページを紹介いたします。









之鼻奨学会の活動がさらに

倍旧

が、

その牽引役である猪

のご支援を心よりお願発展していけるよう、

し上げます。

組むべきことと思います。

繰り返しのお願いになりま

究者の研究意欲を高め発展 学会の財源は基本財産の利 と切に思います。猪之鼻奨 このような、華々しい活躍 将来のために最優先で取り を支援することは、医学の にあります。若手医師や研 付金によっています。 窓ならびに関係者からの寄 子と、医学部と薬学部の同 奨学会の活力につながれば が千葉大学ならびに猪之鼻 誉賞も検討されています。 れた羽生結弦選手は、 日 ピック・パラリンピックで た2018平昌冬季オリン ぶりに連覇を達成し国民栄 た。けがで出場すら危ぶま 財団の経理は厳しい状況 が、連日のメダル獲得に 本中がわき上がりまし いろいろと話題を提供 近年の低金利政策によ 66 年 ゕ

疆

の時の



理事

市川智彦